



11月3日(土)に「わんぱくサロン 10周年感謝祭」を開催しました。(関連記事2ページ) たくさんの方に支えていただき、10年目を迎えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

写真① 10年目の子育てボランティアのみなさん②③遊びのコーナーの様子④アヒルのダンスコンテスト HIMAWARI チーム⑤大崎春雄さん(愛知川)、喜多居春男さん(岩倉) 合作の顔抜きパネル⑥よさこいパパさんチーム⑦サントナ学園チーム⑧よさこいダンスチーム⑨審査員



内容

- contents
- 2 わんぱくサロン10周年感謝祭 等
 - 3 地域のお顔を紹介します! / 地域の福祉活動ご紹介
 - 4~5 特集 愛荘町の見守り活動
(滋賀県社会福祉協議会発行「滋賀の地域福祉力」)
 - 6 ふれあい共同作業所だより
 - 7 事務所移転のお知らせ / 善意銀行だより 等
 - 8 おしらせ

発行者 社会福祉法人

愛荘町社会福祉協議会

愛知川事務所 滋賀県愛知郡愛荘町市731番地

TEL 0749(42)7170 FAX 0749(42)7178

秦荘事務所 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1216番地1

TEL 0749(37)8063 FAX 0749(37)4343 有線2043

祝・わんぱくサロン 10 周年

11 月 3 日(土)にわんぱくサロン 10 周年感謝祭を開催しました。当日は、家族連れやボランティア約 200 名の参加があり、10 年目の節目を和やかにお祝いすることができました。

アヒルのダンスコンテストでは、5 チームが可愛く元気なダンスを披露してくださり、会場全体が温かい笑いに包まれました。厳正な審査の結果、わんぱく大賞には「HIMAWARI サークル A チーム」が選ばれました。おめでとうございます！



「HIMAWARI サークル A チーム」のダンスと我が子を見守るお母さん(手前)



開設当初から支えてくださったボランティアのみなさんに感謝の気持ちをお伝えしました。

昔あそびやマグネット作り、おやつつかみなどのコーナーも盛況で、記念シールを目指してスタンプラリーに挑戦する親子で賑わっていました。

「わんぱくサロン」は、昨年度から町の委託を受け「わんぱくひろば」事業の一環として開所しています(最終ページに記載)。今後も、地域のみなさまに支えていただきながら、親子がホッとする場所づくりに努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

赤い羽根の風船をどうぞ！～あいしょう66かまど祭～

10月28日にラポール秦荘において、町商工会主催の「あいしょう66かまど祭」が開催されました。社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金運動啓発をふれあい共同作業所の利用者さんと一緒に実施しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、たくさんの方の来場がありました。作業所の利用者さんは、来場された子どもたちに優しく「ありがとう」と声をかけながら、赤い羽根風船を手渡していました。風船をもらった子どもたちの笑顔に、みんなも思わず笑顔になりました。

8,099 円の募金が集まりました。ご協力いただきありがとうございました。



子どもたちに風船を渡す作業所のみなさん

愛知川小学校・秦荘東小学校の福祉の取り組み！

愛知川小学校 4 年生では 3 日間に分けて、福祉学習が行われました。

1 日目は「手話サークルゆびゆり」による聴覚障がいについてのお話・手話を交えたゲーム。2 日目、3 日目は社協職員による車イス体験・視覚障がい・ボランティアについて取り組みました。話を聞くだけでなく、アイマスク・車イスなどを使って体験することで障がいについて身を持って感じる内容となりました。



浅野征三さんのお話を聞く児童



「手話サークルゆびゆり」によるゲームの様子

秦荘東小学校 4 年生では 4 日間に分けて、福祉学習が行われました。

1 日目、2 日目は社協職員によるアイマスク・車イス体験、施設見学。3 日目は「手話サークルゆびゆり」による聴覚障がいについてのお話・手話を交えたゲーム。4 日目は視覚障がい者の浅野征三さんによるお話・点字体験に取り組みました。障がい者の方からのお話に児童は熱心に耳を傾けていました。

地域のお顔を紹介します！

第4回西川与三松さん
からの紹介です。

町内で福祉活動をされている方をリレー形式で紹介します。
第6回目は中宿の小林慶子さんです。

■ボランティアを始めたきっかけ

当時勤務していた愛知電機の社長が里親をされており、私も何かお手伝いできればと考え、仕事をしながら月1回愛の郷のデイサービスでボランティアを始めました。また、実母の介護で退職した後は、担当のケアマネジャーさんから「気分転換に『わんぱく』でも行ってみたら？」とわんぱくサロンでの子育てボランティアを紹介していただきました。

■現在の活動内容を教えてください。

愛の郷デイサービスやわんぱくサロンでボランティアをしています。また、家族介護者友の会「ひまわり」や認知症キャラバンメイトなどの活動をしています。

■今後やってみたいことを教えてください。

声をかけてもらえたり、必要としてもらえると嬉しいです。今後は一番身近な地域（中宿）で、顔の見える距離を大切にしながら、気軽に人が寄って話せる場所をつくりたいです。

※「何でも続けようと思ってしていません。気付いたら続いていたんです」と、ライフワークとして気負わず活動されている様子が伺えました。ありがとうございます。



活動中の小林慶子さん

平居あじさいクラブ活動報告！



大きいお芋が採れたね！

10月14日(日)、平居あじさいクラブのふれあい農園で収穫祭がありました。

子どもから大人まで一緒にさつまいもを掘り起こし、採れたてを

天ぷらに調理していただきました。字民の交流と町内外の奉仕活動をされているみなさんの次の活動は、清掃活動と餅つき交流会です！

豊満いきいき活動中！



新聞広告でパズルに挑戦する参加者

11月17日(土)に豊満いきいきサロンが開催されました。豊満では、高齢者の健康維持と見守りを目的に、みんなが楽しめるサロンを実施されています。

この日は、手芸ボランティアをされている鵜野トシ子さんによるタオル犬作りや、社協職員のレクリエーションなどがあり、賑やかな時間を過ごされていました。

「あびこ友楽丁」にいらっしゃい！

安孫子では、高齢者等活性センターで区民の「ふれあい」や「絆」を深める交流の場として「あびこ友楽丁」を月1回開設しています。

運営は、男性5名で結成された、自治会内のボランティアグループ「安孫子ドンキーサークル」のみなさんです。会場にはサークルメンバーが手作りで用意されたカラムやスポットボール等のゲームがあり、参加者はゲームをしたり、話をしたり、それぞれ楽しんでおられます。



手作りのゲームを楽しむ参加者

社協では、年々、隣近所の付き合いが希薄化していく中、身近にある公民館などを活用して、「誰もが自由につどえる場」を今後も各地に広めていければと思います。活動の相談や支援も行っていますので、「何かしたいな」とお考えの方はお気軽にご連絡ください。

の見守り活動メンバーと、 行政の情報共有の場、 「見守りサポート会議」。

どの地区も、すすめ方や
話し合う内容はさまざまで、
活動にもそれぞれの
カラーがあっておもしろいですね。
その地区にあったやり方を
住民さんと一緒に相談して
すすめています。



岡村敦史さん
(愛荘町社会福祉協議会 地域福祉支援主任)

目加田地区の「見守りサポート会議」には区長、副区長(次年度区長)、福祉推進委員、民生委員児童委員、そして町社協の職員が参加しています。主体となって会議を運営するのは住民で、そこに専門職である町社協の職員が参加し、サポートしています。

これまでに開催した会議の中では、訪問聞き取り調査の結果を報告・共有したり、地域で気になっている人のことを話し合ったり、住民のみんなにどのように「地域の見守り」を意識してもらいこの活動を区全体のものにしていこうか、ということ話し合ってきました。また、そのなかで



▲「見守りサポート会議」の様子

認知症の方の徘徊の問題が多く出たことから、地域での理解を深めるための勉強会などもこれから検討していくところです。

制度で人を区切ることなく、多様な視点で暮らしづらさや課題を見つけることができる住民の活動は、専門職にとってもニーズの早期発見・予防へとつながっています。

をこえて！

では解決できないさまざまな地
見えてきたとき、「あの人に相談
系ができていると安心です。この
門職と情報交換し、様々な地域の
について一緒に考えます。時に
。

専門機関の ネットワーク

専門職が結集！

行政や社協、医療機関、福祉施設、
NPOなどの専門職や団体が、地域の
住民活動と連携しながら、それぞれ

の力だけでは限界のある制度やサービスの“はざま”にある問題を
話し合ったり、時には制度や施策に結びつけたり、住民活動を広げ
ていく方策を話し合ったりするための市町域でのネットワークの
場です。

住民活動と連動するため、 町域の専門機関が集まる「地域支援会議」。



愛荘町の「地域支援会議」は、町の行政、
社会福祉協議会、民生委員児童委員協議
会、老人クラブ連合会、福祉施設、当事者団
体、消防署、警察署、日本赤十字奉仕団、自
治会の代表、ボランティア協議会といった
メンバーで構成されています。町全体で地
域支えあい活動を促進していこうという
趣旨で、平成23年度からはじ

まりました。

はじまったばかりの会議ですが、これからの展開として、一部の地域で開催されている「見守りサポート会議」を今後どのように町全体の取り組みとして波及させていくかという話し合いを行ったり、見守り活動と連動させながら災害時要援護者避難支援計画の個別計画(※)の策定をすすめていくことなども検討しています。

日頃の情報交換に加え、町全体で考えていくべき課題など、住民主体の見守り支え合い活動のなかで出てくるニーズをしっかりとらえ、活動を支える仕組みをつくるための協議の場として継続していきます。

いろいろな機関が
つながることで、
新たな支援の仕組みが
生まれます！

北川君子さん(愛荘町役場 福祉課 課長補佐)

※災害時において支援が必要となる一人ひとりについて「誰が」「どこに」「どうやって避難する」等、支援に必要な事項を個別に示したもの。

地域ぐるみで支え合う わたしたちのまち!

動き出しました!

愛 荘 町

地区
社協
「見守

地域には、サロン活動^(※)や見守り活動など、住民同士が助け合い、支え合う活動がたくさんあります。それらの活動を通して、制度やサービスの‘はざま’にある人たち、貧困や複合した問題など多様なくらしづらさを抱えた人たちを見守り、支えています。

しかしこういった活動は住民のみで完結するものではありません。個々の対応では解決しきれない人や世帯、地域の支援について、住民や福祉事業所、関係機関・団体、企業やNPOなどが連携し協働する、重層的な地域ぐるみの支えあい活動が少しずつ県内各地でひろがってきています。

今回は、愛荘町目加田地区での、住民と専門職の協働による「見守りサポート会議」を中心とした小地域福祉活動、専門職のネットワークをご紹介します。

※サロン活動とは…

地域で高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがいや元気に暮らすきっかけを見つけ、地域の人のつながりを深める自主活動の場です。また、地域で交流の場をもうけることで住民の地域への関心を深め、近隣での助け合いを育む地域づくりをめざしています。

小地域福祉活動

住民が主役!

小地域福祉活動とは、自治会や小学校区エリアなど、生活に身近な地域で、誰もが安心して生きがいをもって生活できる地域づくりのために、地域の福祉課題の解決をめざして住民が主体となっておこなう福祉活動です。

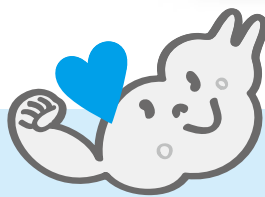
住民と専門職が 出会う協働の場

立場

住民だけ
域の課題が

しよう」と専門職と顔の見える関係
場では、活動者同士が社協や行政といった専門
問題を気軽に話し合うとともに、個別の問題
はミニ学習会などを開催することもあります

サロンも大切な見守りの場。
隣近所での助け合いの大切さに気づく。



愛荘町目加田地区は194世帯、人口629人、高齢化率27.7%(H24.3.31現在)の地区で、サロン活動が盛んな地域です。3つの年代別にサロンを立ちあげ、それぞれを月に1回、異なるボランティアが運営を支えながら、20年以上も活動が続いています。



▲サロン活動の様子

平成23年11月、社協が開催した住民懇談会での「見守りサポート会議を地区ですすめませんか」という社協からの提案をきっかけに、民生委員児童委員を中心に取り組みを始めました。新たに活動を起こすのではなく、すでにおこなってきたサロン活動などもニーズ発見の大切な場として見守り活動に活用しながら、無理なくできることから始めています。

まずは、見守りの対象者を「75歳以上のひとり暮らし高齢者」「80歳以上の高齢者世帯」と決め、民生委員児童委員によるお宅訪問、聞き取り調査を行いました。その後、昼間に独居になる高齢者や障害者のことなども含め、必要に応じて見守りの対象を広げ



ていくことも検討して
見守りの対象となる
をすることが最終目標
く、こういった活動をし
ことを地域の人を知
『ああ、隣近所での助け
て大事な』と気づき、
みが浸透していくこと
できます。

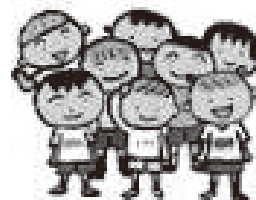
サロンのなかで、ポロツとでた一言も大切なニーズ。
かかわるきっかけになりますね。

清水 馨さん(見守り活動メンバー)

専門職とつながって
いるので、安心して
活動できます。

北川孝子さん
(見守り活動メンバー)

ふれあい



ふれあい共同作業所だより No. 20

レクリエーション交流会「ロンドンオリンピックをもう一度！」

今年は、4年に1度のスポーツの祭典、「ロンドンオリンピック」が開催されましたが、作業所でもあの感動のオリンピックを再現しよう！ということで、11月9日（金）に、同じ町内にあるコスモス共同作業所の利用者さんと一緒に、レクリエーション交流会「ロンドンオリンピックをもう一度！」を開催しました。

今回の交流会は、福祉レクリエーションの指導や実践などで活動されている「この指とまれ」の松藤弥一郎さんにご協力いただきながら、利用者さんが楽しく身体を動かしながら交流できることを目的として準備を進めてきました。

そして当日。それぞれの作業所からの代表が、選手宣誓をして交流会が開幕。赤・青・黄・緑の4チームに分かれ、各色のチーム名を相談して決めることから始まり、赤：「ドラゴン」、青：「ウルトラマン」、黄：「ピカチュウ」、緑：「ピーナツ」のチーム名に決まりました。最初のクイズでは、職員や利用者さんの好きな物あてクイズで、各チームが楽しそうに答えを話し合っている姿が印象的でした。

その後は、新聞取りレースや玉入れ、ペットボトルボウリングなどをおこないました。それぞれの種目に使う材料は、全て古新聞紙を使っていきます。新聞取りレースで取った新聞紙を丸めて玉入れのボールに。そのボールを合わせてボウリングの玉に仕上げていきます。まさに、エコな活動ですね。

ふれあいコスモス 交流会 2012

チーム名	青 ウルトラマン	赤 ドラゴン	黄 ピカチュウ	緑 ピーナツ
新聞取り	30	30	40	20
玉入れ	25	42	29	40
ボウリング	20	20	18	22
合計	237	232	248	282



「うまく入らないなあ〜」



「よ〜くねらって目指せ ストライク!!」



「これからもよろしくね!!」

中でも一番盛り上がったのは、ペットボトルボウリングでした。ゴムを取り付けた新聞ボールを引っ張り、ゴムの力を利用してピンを倒すボウリングで、気軽に楽しめるボウリングでみんなとても楽しんでくれました。ストライクが出れば自然に拍手と仲間とのハイタッチ！チーム対抗ではありましたが、参加したみんなが笑顔いっぱい楽しい交流会（オリンピック）になりました。

当日お手伝いいただいた、松藤さんをはじめ、民生委員さん、保護者、ボランティアの方々には大変お世話になりました。日頃は作業（仕事）を中心に活動している両作業所ですが、みんなが一緒に楽しい時間を過ごすことも大切です。このような交流会は、今後も継続していきたいと思います。

【担当：藤田】



— かわいい訪問者 —



10月31日（水）ハロウィンの日

愛の郷で実施されている「わんぱくひろば」に参加している子どもたちが、ハロウィンの仮装をして、作業所へ遊びに来てくれました。

子どもたちの可愛い姿を見ると、利用者さんも自然と笑顔があふれました。

みんなありがとう！また来てね！



～お問合せ～

ふれあい共同作業所
TEL.42-2264

（管理者）
愛荘町社会福祉協議会

事務所移転のお知らせ！

平成 25 年 1 月より、事務所機能の効率化を図るため、居宅介護支援事業所と訪問介護事業所が秦荘事務所（いきいきセンター）に移転します。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いします

秦荘事務所（いきいきセンター内）



主なサービス

- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 訪問介護事業所（障害含む）
- ・ 秦荘通所介護事業所

TEL.37-8063/FAX.37-4343

愛知川事務所（愛の郷内）



主なサービス

- ・ 総務
- ・ 地域福祉事業
- ・ 愛知川通所介護事業所
- ・ わんぱくひろば

TEL.42-7170/FAX.42-7178

ダスキンさんありがとう！



11月26日（月）に湖光（株）ダスキン事業部のみなさんが愛の郷を清掃してくださいました。窓ガラスや玄関先がピカピカになり、清々しい気持ちで新しい年を迎えることができます。ありがとうございました。

コスモス共同作業所だより♪



平成23年度、滋賀県共同募金会にお寄せいただいた心温まる貴重な募金の助成を受け、コスモス共同作業所（常安寺）では9月に自動火災報知設備の工事をさせていただきました。感知器が作動した場合、職員五名の携帯電話に通報できるシステムとなっており、今まで以上に防災意識を高め、業務に取り組めます。

善意銀行だより

善意銀行へのご寄付をいただきありがとうございます。みなさまの善意を地域福祉の向上に役立てていきます。また野菜や物品のいただきものは社協事業などで活用させていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

- | | |
|---------|----------|
| ・ 嶋中 雅俊 | お米 4 升 |
| ・ 岩佐 善男 | お米 30kg |
| ・ 匿名 | 1,095 円 |
| ・ 匿名 | 10,000 円 |
| ・ 匿名 | 26,899 円 |

敬称略順不同

（平成 24 年 9 月 1 日～ 11 月 30 日）

いきいきギャラリー開催中！

社協秦荘事務所（いきいきセンター）では、地域の方々の作品を展示しています。現在は、秦荘老人クラブさんの絵手紙、愛荘町陶芸クラブさんなどの陶芸作品を展示しています。

ぜひ一度、いきいきセンターにお立ち寄りください♪



いろいろな作品を随時展示しています。

わんぱくひろばにおいでよ♪

この広場は地域のボランティアさんや保護者さんを中心に身近な場所で「ほっ」とできる交流の機会と、安全な遊び場づくりを目指しています。

- ☆開催日 毎週 月・水・木（祝日除く）
- ☆場 所 福祉センター愛の郷
- ☆時 間 9:00～12:00/13:00～15:00
- ☆持ち物 水分補給のためのお茶をご持参ください。
- ※ランチを持ってきて食べることができます。



※今年のわんぱくひろばは、平成24年12月27日までです。来年は平成25年1月7日から始まります。

★わんぱくサロン★

【参加対象者】 就学前の子どもとその保護者

【開催日時】 毎月第1・第3木曜日の午前中

月	日	時 間	場 所
1月	17日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
2月	7日(木)		
	21日(木)		
3月	7日(木)		
	21日(木)		

【参加費】 無料

※毎月第3木曜日は当月生まれのお子様のお誕生会です♪
(日の変更もありますので、お問い合わせください)

★金魚クラブ★

【参加対象者】 0歳児～1歳児の子どもとその保護者

【開催日時】 毎月第2木曜日の午前中

月	日	時 間	場 所
1月	10日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
2月	14日(木)		
3月	14日(木)		

【参加費】 50円（飲み物代等）

★くじらクラブ★

【参加対象者】 2歳児～就学前の子どもとその保護者

【開催日時】 毎月第4木曜日の午前中

月	日	時 間	場 所
12月	27日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
1月	24日(木)		
2月	28日(木)		
3月	28日(木)		

【参加費】 50円（飲み物代等）

※上記お問い合わせは、愛知川事務所までどうぞ

ひとりで悩むより 一緒に考えませんか？



社協は、地域で生活をしていくうえでの窓口として、相談事業を行っています。

福 祉 相 談 （随時）

この相談所は、職員が町民みなさんの福祉に関する相談の窓口として、社協の各事務所で開設しています。匿名での相談もかまいません。

心配ごと相談所 （下表）

この相談所は、民生委員児童委員などの相談員さんが町民みなさんの生活に関するあらゆる相談の窓口として開設しています。匿名での相談もかまいません。社協の各事務所に設置しています。

月	日	時 間	場 所
1月	9日(水)	13:30 ～15:30	いきいきセンター
	16日(水)		愛の郷
	23日(水)		いきいきセンター
2月	6日(水)		愛の郷
	13日(水)		いきいきセンター
	20日(水)		愛の郷
	27日(水)		いきいきセンター
3月	6日(水)		愛の郷
	13日(水)		いきいきセンター
	27日(水)		いきいきセンター

※心配ごと相談は、電話でのご相談もお聞きしています。

電話番号 愛の郷 42-5843（直通）
いきいきセンター 37-8063

※愛の郷開催分 行政相談所 毎月第2水曜日
人権相談所 毎月第4水曜日

「傷つくことから気づく 気づくことから築いてゆける 築く過程で絆ができる 創の裂けめから新しい我が生まれて 命がだんだん立ってゆく」
「創から」という里みちこさんの詩です。いじめや自殺など心を痛める話題が多く取り上げられた今年の世相を表しているような内容です。
バタバタと忙しくしていると見過ごすことがたくさんありますが、「気付いた時には遅かった」ということがないように、変化に気付くことを大切にしたいです。
みなさま今年一年お世話になりました。良
いお年を♪

編集後記

